

家族4人で住める家を
約1時間で組立て設置できます

感謝をこめて..

災害用早期設置型組立て式「復興支援ハウス」: 展示のご案内

拝啓

先生におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成7年の阪神淡路大震災以来、研究開発を行って参りました「復興支援ハウス」を、下記の日程で都庁「ふれあいモール」に展示させて頂くことになりました。

当ハウスは過去の大震災等における被災者の過酷な避難所生活を教訓に、体育館等でのプライバシーのない生活からの早期解放と、過労やストレスによる精神的肉体的な負担を低減することを目的に、大都市大震災を想定して開発されたものです。

保管・搬送時は箱型で、設置に当たっては、本体のジャッキで傾斜地にも設置でき、組立て時間は約1時間です。また、軽量で移動も容易であり、再使用できます。

床面積は10㎡程度ですが、室内には4人分のベッド、トイレ、シャワー、キッチン、テーブル、冷蔵庫、物置などを備えており、活用事例から、被災者はもちろんですが、被災地における小規模拠点施設や災害ボランティア、仮設住宅建設作業員などの短期居住施設、自衛隊の野営施設などに有効だと思われまます。

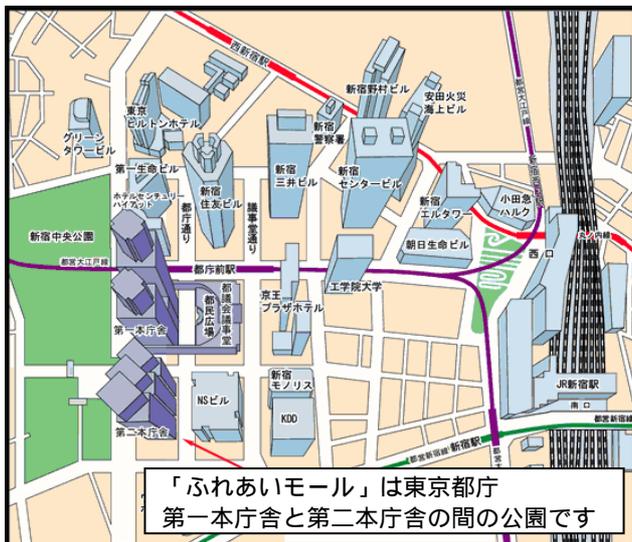
仮に各県で100戸程度備蓄しておき、災害発生後、被災地に大型トラック(6~9戸積載可能)で搬送すれば、1週間程度で約5000戸の支援ハウスを設置することができます。

展示させて頂くのは2005年の新潟県中越地震において小千谷市で使用し、現在、宮城県石巻市で使用している支援ハウスと、今回、開発した新しい支援ハウスの2台です。

お忙しい時期とは存じますが、ぜひ、ご高覧賜りますようご案内申し上げます。

敬具

展示日時 平成23年7月15日(金) 午前10時~午後4時
展示場所 東京都庁「ふれあいモール」



4トトラックに2戸積載可能
(搬送時は四角い箱型です)



外観: 組立ては約1時間
(4人が住める備品を装備)



2005年、新潟県中越地震では小千谷市に設置し使用



宮城県石巻市災害ボランティアセンターに設置し救護所として使用中

お問合せ

山口大学大学院・理工学研究科(環境共生学系・三浦房紀研究室)
岡村精二建築設計事務所

工学博士 岡村精二

〒759-0206 山口県宇部市大字東須恵 1271-15

Tel 0836-41-5435 Fax 44-4423 携帯 090-8713-6719

http://www.okamura21.com E-mail seiji@okamura21.com